



病気や障がいをもつ人への在宅生活の支援と 安心して暮らせる地域づくりに関する研究

保健福祉学部 看護学科
講師 岡田 麻里（おかだ まり）

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3416 号室
Tel 0848-60-1271 Fax 0848-60-1271
E-mail m-okada@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： 在宅看護学 地域看護学

キーワード： 地域ケアシステムづくり, 継続看護マネジメント,
退院支援, 保健師, 訪問看護師, 在宅頸髄損傷者
中山間地域在住高齢者, アクションリサーチ

● これまで取り組んできた研究

「行政の保健師が地域ケアシステムづくりをする際に
用いた技術に関する研究」

地域ケアシステムづくりをした保健師に面接調査し、
その内容を質的に分析することによって、保健師が実践
に用いた技術や活動方法を明らかにする研究をした。

・岡田麻里, 村嶋幸代, 麻原きよみ(1997): 地域ケアシステムを構築した
際に保健師がもちいた能力, 日本公衆衛生雑誌 44(4) 309-321.

「特定保健指導担当者のコンピテンシーを高める学習
創出型プログラムの実施による参加者の学習成果」

プロジェクト・ベース型、省察の実践、ポートフォリオ
を活用した学習成果創出型プログラムを作成し、プロ
グラムに参加した特定保健指導担当の保健師 5 名に実施、
評価した。プログラムの成果を確認するとともに課題を
明確にした。

・岡田麻里, 岡本玲子, 小出恵子, 岩本里織 (2012): 特定保健指導担
当者のコンピテンシーを高める学習成果創出型プログラム実施による参加
者の学習成果, 日本地域看護学会誌, 15(2): 27-37.

「病院を対象とした退院支援継続看護研修プログラム
実施と評価に関する研究」

病院看護部・訪問看護ステーション管理者・大学との
協働で病棟看護師を対象に退院支援・継続看護研修プロ
グラムを実施した。その成果を評価するために、研修終
了後 6 ヶ月に面接調査し、プログラムでの学びが看護師
の実践を改善する取り組みに結びついていたことを確
認した。

・岡田麻里, 長江弘子, 谷垣静子, 保科英子, 安藤弥生 (2016):
A 病院における病棟看護師の退院支援・継続看護研修プログラムの
学習成果, 日本在宅ケア学会, 20(1): 63-71.

「社会参加を希望する在宅頸髄損傷者のセルフマネジ
メント能力に関する研究」

Rogers の概念分析の手法を用いて、文献から頸髄損傷
者のセルフマネジメントについて明らかにした。理論化
に向け、9 名の在宅頸髄損傷者に面接調査を行った。

● 現在の研究および今後進めていきたい研究

「多職種連携のための継続看護マネジメントモデルの
適用とその検証」(公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
2014 年度(後期) 一般公募「在宅医療研究への助成」)

病院看護師等を対象とした継続看護マネジメントモ
デルを活用した教育プログラム実施と評価を行う。今後、
地域包括ケアシステム創りに貢献できる人材育成を目
指して、基礎教育に応用して行きたいと考えている。

● 地域・社会と連携して進めたい研究

「一人暮らし高齢者の多様な居場所づくりのためのア
クションリサーチ」

広島県庄原市総領町と協働で中山間地域在住高齢者
の生活実態調査、高齢者サロン参加者の健康チェックを
とおした実践評価を行う。住民教育の手法として他学科
教員と協働しプレイバックシアターを活用している。

● これまでの連携実績

- 1) 平成 26~28 年科学研究費助成事業(基盤研究 C: 分担者:)
研究課題名: 地域における住民の在宅医療セルフマネジ
メント教育プログラムの開発
- 2) 平成 29 年度科学研究費助成事業(基盤研究 C: 分担者)
研究課題名: 地域に密着した住民の主体的介護促進のため
の教育支援モデルの開発
- 3) 平成 29 年度科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究: 分担者)
研究課題名: へき地看護職のジェネラリスト能力を支える
協働効力感の尺度開発に向けた基礎的研究